

石部棚田で田植え祭 松崎



駿河湾を見下ろす絶景で知られる松崎町石部地区の棚田で24日、恒例の田植え祭が開かれた。保全に協力する県内外のオーナーや地元関係者ら約400人が田植えに取り組んだ。参加者は地元保存会の指導を受けながら、等間隔で稲を植えた。時に泥だらけになりながらも、秋の豊作を願っ

て約2万5000平方メートルの範囲で作業を進めた。町によると、2002年に県内で初めてオーナー制度を開始。今季は県内外の102組がオーナーとなり田植えのほか、除草や稲刈りに取り組む。保全を支援する「トラスト会員」にも68組が名を連ねた。保全活動に携わる坂本武さん(34)

駿河湾を見下ろす石部地区の棚田
＝松崎町

は「日本でも有数の絶景。この景観を後世にしっかりつないでいきたい」と強調した。25日も約130人が参加する予定という。
(2025年5月25日付東部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①写真の奥に見える海は何湾ですか。漢字で書きましょう。() 湾
- ②「棚田」は何と読みますか。()
- ③この「棚田」の絶景を守るためにどんな工夫をしていますか。記事から読み取って書きましょう。
()
- ④あなたがこの棚田で田植えをしたら、どんな気持ちで稲を植えると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

				5					10					15
				20					25					30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、総合

まず問題を読み、「何を答えるのか」を知ろう。その後で記事を読み、答えに関係する言葉や表現を探そう。

石部棚田で田植え祭 松崎



駿河湾を見下ろす絶景で知られる松崎町石部地区の棚田で24日、恒例の田植え祭が開かれた。保全に協力する県内外のオーナーや地元関係者ら約400人が田植えに取り組んだ。参加者は地元保存会の指導を受けながら、等間隔で稲を植えた。時に泥だらけになりながらも、秋の豊作を願っ

て約2万5000平方メートルの範囲で作業を進めた。町によると、2002年に県内で初めてオーナー制度を開始。今季は県内外の102組がオーナーとなり田植えのほか、除草や稲刈りに取り組む。保全を支援する「トラスト会員」にも68組が名を連ねた。保全活動に携わる坂本武さん(34)

駿河湾を見下ろす石部地区の棚田
＝松崎町

は「日本でも有数の絶景。この景観を後世にしっかりつないでいきたい」と強調した。25日も約130人が参加する予定という。
(2025年5月25日付東部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①写真の奥に見える海は何湾ですか。漢字で書きましょう。()湾
- ②「棚田」は何と読みますか。()
- ③この「棚田」の絶景を守るためにどんな工夫をしていますか。記事から読み取って書きましょう。
()
- ④あなたがこの棚田で田植えをしたら、どんな気持ちで稲を植えると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

				5					10					15
				20					25					30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、総合

まず問題を読み、「何を答えるのか」を知ろう。その後で記事を読み、答えに関係する言葉や表現を探そう。

＜解答例＞

- ①駿河
- ②たなだ
- ③(例) 保全に協力するオーナー制度や保全を支援するトラスト会員などの工夫。
- ④(例) 日本でも有数のこの絶景を守り、後世につないでいきたい。(27字)
- 秋には、このきれいな棚田に豊作の風景が見られるといいな。(28字)

自分の植えた稲が育っていくのはとても楽しみだから頑張ろう。(29字) など

＜解説＞

- ①写真の説明や本文1行目にあるね。この機会に日本一深い駿河湾の特徴を調べてみよう。
- ②写真からも分かるように、棚田は階段のように作られた水田で、山の斜面や谷間に美しい

景観をつくっているよ。

③本文3～5行目や10～15行目から読み取って書こう。

④本文8～9行目や16～19行目を参考に、自分が田植えをしていることを想像しながら書こう。特に「 」の中の言葉に注目だね。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢 和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。